

損益計算書 (P/L : Profit and Loss statement) の解説

○『損益計算書』とは・・・？

1事業年度の経営成績を明らかにするために、その期間中に得たすべての収益とこれに対応するすべての費用を記載した報告書です。

○『損益計算書』から分かることは・・・？

どんな経営活動によってどれだけの経営成績を上げたかを知り、それに基づいて過去の経営を分析し、将来の方針を立てることが可能となります。

3つの段階で利益を把握
利益 = 収益 - 費用

①営業利益
本業による利益
 通常の業務活動の損益の結果が表示されます。

②経常利益
経営努力の成果を示す利益
 通常の業務活動に関する損益に加えて、資金調達等に関する損益の結果が表示されます。

③当年度純利益
最終的な利益
 1年間のすべての損益の結果が表示されます。

繰越利益剰余金・当年度純利益を取り崩した場合に、その他未処分利益剰余金変動額に計上します。

令和4年度 葉山町下水道事業会計 損益計算書

(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

(単位 円)

1 営業収益			
(1) 下水道使用料	260,317,642		
(2) その他営業収益	35,522,676	295,840,318 (ア)	
2 営業費用			
(1) 管路費	19,207,332		
(2) ポンプ場費	32,681,366		
(3) 処理場費	222,899,824		
(4) 普及促進費	1,607,198		
(5) 業務費	11,804,515		
(6) 総係費	47,543,599		
(7) 減価償却費	659,170,762		
(8) 資産減耗費	1,246,881	996,161,477 (イ)	
営業利益		△ 700,321,159	(ウ) = (ア) - (イ)
3 営業外収益			
(1) 受取利息及び配当金	3,019		
(2) 他会計補助金	600,000,000		
(3) 長期前受金戻入	341,760,816		
(4) 雑収益	36,494	941,800,329 (工)	
4 営業外費用			
(1) 支払利息及び企業債取扱諸	97,826,996		
(2) 雑支出	0	97,826,996 (オ)	843,973,333 (カ) = (工) - (オ)
経常利益		143,652,174	(キ) = (ウ) + (カ)
5 特別利益			
(1) 過年度損益修正益	4,480	4,480	(ク)
6 特別損失			
(1) 過年度損益修正損	4,224	4,224	(ケ)
当年度純利益		143,652,430	(コ) = (キ) + (ク) - (ケ)
前年度繰越利益剰余金		120,722,448	(サ)
その他未処分利益剰余金変動額		307,909,432	(シ)
当年度未処分利益剰余金		572,284,310	(ス) = (コ) + (サ) + (シ)